

瀬戸内タウンミーティング（豊原地区）

平成 22 年 11 月 9 日（火）19 時～21 時
豊原コミュニティセンター

参加者：男性 14 人、女性 0 人、計 14 人

市民から出た意見と市長の回答

・東谷地区のほ場整備が完成し、大用水のきれいな水を使った米作りができると考えていたが、実際には千町川の水を使っている。産業建設部や旭東用排水組合などをお願いをしているが、どうにかならないか。

（市長）水利権の問題に対して市がどこまで関与できるか調べる。

・市役所の職員が自転車通勤をするという新聞報道を見たが、もっと市民にも呼びかけて取り組むべきではないか。また「自転車のまち 瀬戸内」を推し進めるなら自転車道の整備があわせて必要ではないか。

（市長）この事業は国からの委託で、今は市職員による調査を行う段階。市内を自転車で巡るにはどのような問題があるかを把握し、車に乗れる人は自転車に乗らないという選択もできるが、子どもなど自転車に乗らざるを得ない人のために、どうやって安全に自転車で移動できるまちにするかを考えなくてはならない。その上で市民の皆さんにも呼びかけをしたいと考えている。

・「質の高い医療」とはどんな医療を考えているのか。市内である程度完結できる病院があるべき。

（市長）瀬戸内市が保有している病床は 110 床。これを増やすことはできないため、この条件でできることを考えると 3 次救急は不可能。2 次あるいは 1.5 次の医療がまず考えられる。また、療養病床としての機能や老健施設との組み合わせやリハビリ機能とか地域包括ケアを検討している。

・歴史や文化を大切にすまち、とあるが、自然、という言葉をごここに加えてほしい。

（市長）検討する。

・上水道について、備前市のように地下水の利用を考えてはどうか。

（市長）市の水道の全量を地下水にするには新たに井戸を掘る必要がある。しかし、岡山県の許可が必要であり、まず許可が下りないこと、また周辺の同意が必要なことから、井戸を掘ることは難しい。また、岡山県広域水道企業

団から水を買うという枠組みから抜けられない。

- ・塩田跡地について、自然を活かした利用をお願いしたい。
(市長)まず、どんな自然がそこにあるのかを調査することから始めたい。その上で、活かす方法を考える。

- ・大阪ガスがガス管の埋設工事をしているが、このあたりは地盤が軟弱で、安全対策に不安がある。役所の業者への対応はどのようにしているのか。
(市長)市にも説明に来たが、市から何らかの許可が必要というわけではない。安全対策については確認をしておく必要があると思う。

- ・夜、豊原の田の中に鹿がいた。最近鹿や熊が人里に出てくるという報道を良く見るが、市内でもよく出るのか。一人で山に入るのが不安になる。注意喚起と周知をしては。
(市長)私の家の近所でも出ている。今頭を抱えているのが鹿、イノシシ、ヌートリア。猟友会にお願いして駆除をしていただいているが、数が多く新たな対策が必要。

- ・豊原コミュニティセンターの管理をしているが、今のところ使用料金を取らずに何とかまかなっているが、今後、市からの指定管理料が減ってくると使用料金を徴収することを考えなくてはならなくなる。何とか指定管理料を減らさないようにしてほしい。
(市長)今のところ、コミュニティセンターの指定管理料を減らす予定は無い。必要なものは必要だと考えている。

- ・市長の農業に対する考え方を聞きたい。
(市長)私見であるが、なぜもっと早く手を打たなかったのか、という思いが強い。稲作が悪いというわけではないが、これまで国によって守られている間に多様な作目による儲かる農業を考えることもできたはず、と思う。また、戸別補償制度が実現した際にはこれまで進めてきた集団営農にブレーキがかかる、といった国の制度改正の影響が直接関わってくることから市で手に負える問題ではないとも感じている。これからの農業は里山・農村を守ること、採算に乗せることが大切であり、大規模化や企業の参入、そして地域の人を守っていくことが重要だと思う。